

**4**  $a$  を実数とする。座標平面において、次の連立不等式の表す領域の面積を  $S(a)$  とする。

$$\begin{cases} y \leq -\frac{1}{2}x^2 + 2 \\ y \geq |x^2 + a| \\ -1 \leq x \leq 1 \end{cases}$$

$a$  が  $-2 \leq a < 2$  の範囲を動くとき、 $S(a)$  の最大値を求めよ。

(25 東大・文科)

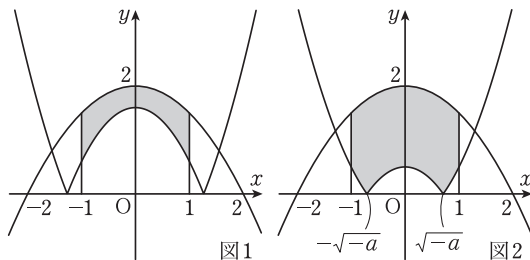
**4** **数学II**【面積】**標準**  
《面倒ではある (B20)》

**▶解答** まず、 $y = -(x^2 + a)$  と  $y = -\frac{1}{2}x^2 + 2$  の大小を調べよう。  $-2 \leq a < 2$  においては

$$-\frac{1}{2}x^2 + 2 - \{-(x^2 + a)\} = \frac{x^2}{2} + a + 2 \geq 0$$

であるから、折り返した  $y = -(x^2 + a)$  が  $y = -\frac{1}{2}x^2 + 2$  より上側に来ることはない。

- $-2 \leq a \leq -1$  のとき：図1 のようになる。  
 $-1 \leq x \leq 1$  においては常に  $|x^2 + a| = -(x^2 + a)$  である。 $a$  が大きくなると  $y = -(x^2 + a)$  は下に下がるから、 $S(a)$  は増加する。



- $-1 \leq a \leq 0$  のとき：図2 のようになる。

$$\begin{aligned} \frac{S(a)}{2} &= \int_0^1 \left(-\frac{1}{2}x^2 + 2\right) dx \\ &\quad - \int_0^{\sqrt{-a}} \{-(x^2 + a)\} dx - \int_{\sqrt{-a}}^1 (x^2 + a) dx \\ &= \left[-\frac{x^3}{6} + 2x\right]_0^1 - \left[-\frac{x^3}{3} - ax\right]_0^{\sqrt{-a}} \\ &\quad - \left[\frac{x^3}{3} + ax\right]_{\sqrt{-a}}^1 \end{aligned}$$

$$= \frac{11}{6} + 2 \left( \frac{-a\sqrt{-a}}{3} + a\sqrt{-a} \right) - \left( \frac{1}{3} + a \right)$$

$$= \frac{4}{3}a\sqrt{-a} - a + \frac{3}{2}$$

ここで、 $t = \sqrt{-a}$  とおくと  $t$  のとりうる値の範囲は  $0 \leq t \leq 1$  であり、 $t^2 = -a$  も合わせると

$$\frac{S(a)}{2} = -\frac{4}{3}t^3 + t^2 + \frac{3}{2}$$

$$f(t) = -\frac{4}{3}t^3 + t^2 + \frac{3}{2} \text{ とおくと、}$$

$$f'(t) = -4t^2 + 2t = 2t(-2t + 1)$$

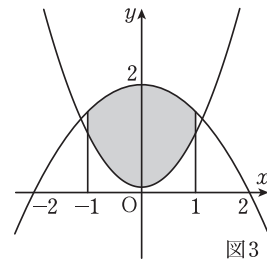
$t$	0	...	$\frac{1}{2}$	...
$f'(t)$		+		-
$f(t)$		↗		↘

これより、 $-1 \leq a \leq 0$  における  $S(a)$  の最大値は

$$2f\left(\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{3} + \frac{1}{2} + 3 = \frac{19}{6}$$

である。

- $0 \leq a < 2$  のとき：図3 のようになる。 $-1 \leq x \leq 1$  においては常に  $|x^2 + a| = x^2 + a$  である。 $a$  が大きくなると  $y = x^2 + a$  は上に上がるから、 $S(a)$  は減少する。



よって、 $S(a)$  の最大値は  $\frac{19}{6}$  である。